



11月1日(土) 全体講演 講師紹介

「どうして戦争しちゃいけないの？」

～戦後80年ー戦争が続く世界に生きる私たち～

東アジア情勢は、米中対立の激化を軸に、軍事的緊張と経済的依存が交錯する不安定な状況にあります。米国は「自由で開かれたインド太平洋」を掲げ、中国の影響力拡大を抑え込むようとしています。それは地域の軍拡を煽り、対話よりも抑止を優先する構図を固定化しています。日本や韓国も米国の戦略に組み込まれ、防衛費増大や安保協力の強化を進めていますが、これは東アジアを「戦争の準備の場」へと変える危険をはらんでいます。

一方、中国や北朝鮮も軍備強化を進め、緊張の悪循環が続いています。軍拡競争の先にあるのは民衆の暮らしの犠牲であり、対話と協力による安全保障の枠組みこそ必要だと考えます。歴史的に深い傷を抱える東アジアだからこそ、互いの不信を和らげる努力や、気候危機・格差は正といった共通課題への協働が不可欠です。軍事同盟強化ではなく、平和的共存の道を模索することこそが、未来を切り開く鍵となるのではないのでしょうか。

トークセッション

ゲスト

- ◇パレスチナに涙を。さっぽろ
成瀬真己杜さん
- ◇朱鞠内 / 笹の墓標強制労働博物館
館長 矢嶋幸さん
- ◇矢白別 / 旧川瀬牧場住人
寺川真幸さん

ダニー・ネフセタイ さん

ダニー・ネフセタイ (Dani Nehushtai) さんは、1957年イスラエル生まれの家具作家であり、元イスラエル空軍兵、そして平和・人権を訴える活動家として知られています。

高校卒業後、イスラエルの徴兵制度により空軍に志願、3年間の兵役を務めました。その後、退役を機にアジアを旅し、

1979年に来日。日本語を学びながら各地を巡る中で、言語や文化、政治の違いを肌で感じるようになります。

来日後は家具工房勤務を経て、埼玉県皆野町に「木工房ナガリ家」を設立。夫婦で注文家具、遊具、木工小物、社会性オブジェなどを手がけながら、「物づくり」と「社会をよくすること」は両立するという理念を掲げて活動しています。

2008年のガザへの大規模な空爆を契機に、彼自身の戦争観・祖国観に転機が訪れます。その事件を通じて、長年信じてきた「正義の戦争」や「武力による平和」の理念に疑問を抱くようになり、以後は「対話」「非暴力」「人権尊重」を基軸とした平和論を日本国内で発信するようになりました。

彼の講演テーマには、「国のために死ぬのはすばらしい?」ーイスラエルから来たユダヤ人家具作家の平和論、「武器を持てば平和になるの?」「イスラエルと日本、戦争・核・平和」などがあり、祖国イスラエルの教育・文化制度や、日本の安全保障・憲法論、原発・軍需産業の問題などを横断的に語ります。

また、脱原発運動や反核・環境運動、日本国内での平和教育、人権問題にも関心を持ち、地域活動や講演を通じて発言を続けています。近年、全国各地で講演の依頼が増えており、大学や自治体、国会議員を対象にした対話型トークなども行われています。彼の話は、単なる批判ではなく、自身の体験と思索をもとにした率直な問いかけが多く、聴講者自身の平和観や価値観を更新させる力を持っています。

ダニー・ネフセタイさんは、異なる文化・歴史を背景に持ちながら、「対話と想像力こそが暴力を超える鍵である」と信じ、それを生涯のテーマとして語り続けている人物です。



「日本の教育が戦争を肯定するようになっていて驚きました。…子どもたちが戦争の恐ろしさや平和の大切さを伝えられる教育をしていきたいと思います。」

「難しい本を読むより、ダニーさんのような熱量のあるお話を聞くことでよく考えさせられますし、自分ができることは何かこれからよく考えて行動しようと思います。」

「国のために死ぬのか。その言葉どおり、考えさせられる内容でした。」

「徴兵制を経験された海外の方から見た日本、考えさせられるお話でした。…普段考えていたことの違う側面を見せていただけました。」

「今の日本は七〇年前と同じことをしようとしているという話が胸に刺さりました。政治を政治の話ではなく、人権の話として伝えてもらえてとても良かったです。」

聴講者の声

「ダニーさんのお話のセンスに引き込まれ、お話に夢中になりました。戦争や日本について自分があまり関心を持っていなかったことに気づかされました。」

「『素晴らしい人も人を殺します』それが戦争です。…まず自分に何ができるか…子どもと戦争について平和について会話をしようと思います。」

参加申込

分科会への参加には事前の申込みが必要です。
右のフォームからご登録ください。

《申込締切：10月29日（水）》

参加費：無料



レポートについて

日々の教育実践や子どもの様子などA4用紙1枚程度の簡単なレポートでも構いません。是非レポートを書いて分科会にご参加ください。
なお、レポート参加には事前のエントリーおよび原稿の提出が必要です。

《エントリー締切：10月30日（木）》

ハイブリッド分科会は10月24日（金）

《原稿提出締切：11月4日（火）》

ハイブリッド分科会は10月28日（火）

※テーマ別交流会の詳細・分科会の研究課題、レポートの書き方の注意点につきましては、順次ホームページにてお知らせ致しますのでご覧ください。

11/1 会場案内

北海学園大学
豊平キャンパス
札幌市豊平区旭町4丁目1-40



主催：2025年合同教育研究全道集会実行委員会
事務局／TEL：011-231-0816（道高教組）
ホームページ：http://goken-hokkaido.jp/wp/

Mail：zendogoken@gmail.com
「全道合研」で検索！